

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	文化観光国際部 文化振興・世界遺産課	土井口 章博
施策名	5 特色ある文化資源・スポーツによる地域活性化	事業群関係課(室)		
事業群名	① 歴史や文化芸術による地域活性化	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額 85,414	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
<p>本県の特徴ある歴史や文化芸術による地域づくり、それを担う人材の育成、文化資源を活用した地域の取組への支援など、官民協働で地域の文化資源を磨き上げることにより、歴史や文化芸術による地域の活性化を図ります。</p>		<p>i) 県内のどこにおいても音楽や美術などの良質な芸術に触れられる機会の提供 ii) 本県を舞台とした作品の創作支援、出版社等との幅広い人的ネットワークの構築 iii) 継続的な若手芸術家の支援及び若者の企画立案能力向上を図るための人材育成、離島地域を含む本県の多様な文化芸術を総合芸術祭として一体的に実施 iv) 長崎ゆかりの偉人のさらなる顕彰や本県と中国との交流の歴史などの情報発信による認知度向上と海外との交流拡大、県内の日本遺産等を通じた長崎固有の歴史・文化の県内外への発信</p>								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	地域と協働して実施するイベントへの参加者数	目標値①	/	15,100人	15,500人	15,900人	16,300人	16,700人		16,700人(R7)
		実績値②	13,290人(H30)	12,677人	/	/	/	/		進捗状況
	達成率②/①	/	83%	/	/	/	/	遅れ	文化芸術イベントを主体的に企画・運営することを目的に設立された各地域の実行委員会により、それぞれの地域において、文化芸術をマネジメントできる人材育成と体制づくりが図られた。イベント実施回数、イベント参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、事業の中止や一部内容の変更によりいずれも減少はしているが、コロナ禍でも開催できるオンラインイベントを実施するなど、持続可能な取組が生まれ、今後様々な取組の発展が期待できる。	

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事業事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等				
				R2実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R2目標	R2実績		達成率			
取組項目 i	○	1	文化芸術ながさきステップアップ事業費	R3実績	15,557	13,395	5,477		令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容) 令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容) 長崎県美術展覧会(県展)及び同移動展を県内各地で開催した。 また、県内の文化団体相互の連絡協調を行い、文化芸術活動を促進して県民文化の向上を図るため、補助を行った。	【活動指標】	R3目標		5	0	0%
				R4計画	21,821	12,231	5,453	R3実績			5	5	100%		
				事業実施の根拠法令等			社会教育法第3条第1項	【活動指標】			R4目標	15	9	60%	
				事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業					他の評価対象事業(公共、研究等)	主催事業(自主事業)実施件数(件)	15	11	73%
			所管課(室)名	○	—	—	長崎県美術展覧会実行委員会、長崎県文化団体協議会	【成果指標】			15,000	0	0%		
			R2-					県展の観覧者数(人)			15,000	12,372	82%		
文化振興・世界遺産課	○	—	—		【成果指標】	12,000	4,041	33%							
					主催事業(自主事業)参加者数(人)	12,000	3,539	29%							
						12,000	/	/							

取組項目 ii	○	2	「描いてみんなね！長崎」事業費	70	70	2,348	首都圏の出版社等を訪問し、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源を売り込み、マンガ、小説、脚本などの分野での作品化を図る手法の確立を目指すとともに、より幅広い人的ネットワークの構築に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、作家等の本県への招聘が限定的となった。	【活動指標】	5	1	20%	●事業の成果 ・出版社や作家を本県への取材旅行に招待し、本県を舞台とした小説創作支援を行ったところ、4件の作品化が実現したが、新型コロナウイルスの影響で本県への訪問が限定的となり、目標を達成できなかった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・出版社や作家へ継続的に、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源の売り込みを行うことで、出版社等との幅広い人的ネットワークの構築及び本県を舞台とした作品の創作につなげることができた。
				1,378	752	2,337		創作を支援した出版関係者・作家数(人)	5	1	20%	
				1,492	887	2,304		【成果指標】	4	2	50%	
			R元-4	—				長崎県を舞台にした作品数(本)	4	4	100%	
		文化振興・世界遺産課	—	—	—	出版社・作家						
取組項目 iii	○	3	若者が輝く！文化芸術による地域ブランディング事業費	20,944	8,823	7,790	文化芸術による地域づくりの推進と人材育成を図るため、東京藝術大学、地元大学等と連携し、離島地域で「長崎しまの国際芸術祭」を開催するとともに、全県域における若者を対象としたワークショップ等の取組により「ながさき愛」を高め、交流人口の拡大・関係人口の創出を図った。	【活動指標】				●事業の成果 ・各地に地域実行委員会を組織し、文化芸術をマネジメントできる人材育成と体制づくりが図られた。イベント実施回数、参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、事業が中止、一部内容変更したことにより、いずれも減少したが、コロナ禍でも開催できるオンラインイベントを実施するなど、持続可能な取組が生まれた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・地域が目指す様々な分野で、若い芸術家にワークショップ受講と成果発表の機会を提供することができた。
								イベント実施回数(回)	16	13	81%	
			(R3終了)R3	—				【成果指標】				
			文化振興・世界遺産課	—	—	—		地域実行委員会	参加人数(人)	15,100	12,677	
取組項目 iii	○	4	みんなで創る！ながさき国際文化芸術プロジェクト	32,714	12,566	7,681	国民文化祭の開催に向けて、地域文化資源の磨き上げや伝統文化の継承に積極的に取り組む地域を支援する。また、若者参画型の文化芸術による地域づくりを推進することにより交流人口の拡大・関係人口の創出と若者人口定着を図る。	【活動指標】				—
								国民文化祭へ向けた地域で実施する文化資源の磨き上げや伝統文化の継承などの取り組みにかかる参加者数(人)	15,500			
			(R4新規)R4-7	—				【成果指標】				
			文化振興・世界遺産課	—	—	—		市町等	国民文化祭へ向けた地域で実施する文化資源の磨き上げや伝統文化の継承などの取り組みにかかるイベントの実施回数(回)	16		
取組項目 iv	○	5	「長崎の歴史」魅力再発見・発信事業費	4,556	4,556	27,265	長崎ゆかりの偉人顕彰については、大学等での講演や中国武漢・寧波でのフェアによる情報発信、「旅する長崎学」HPでの「隠元禅師と黄檗文化」ページの内容充実に取り組んだ。また、中国から興福寺への梵鐘・隠元禅師像の寄贈に関する協力や日中マスコミの取材支援を行ったほか、隠元禅師・梅屋庄吉を題材とした小説化などへの協力が実り芸誌への掲載が図られた。 日本遺産「国境の島」については、旅する長崎学講座(大阪)での紹介や、県庁及び各協議会部会でのパネル展を行った。また、国から重点支援地域に選定されたことに伴い、日本遺産モニターツアー実証事業(文化庁事業)やJNTOによる海外への情報発信を行った。	【活動指標】				●事業の成果 ・長崎と中国の交流の歴史や日本遺産等の歴史文化資源を活用した幅広い情報発信等に取り組んだほか、民間交流の活性化(中国から興福寺への梵鐘・隠元禅師像寄贈等)が図られた。 ・日本遺産「国境の島」については、これまでの取組等が国から評価され、認定継続及び重点支援地域に選定された。 ●事業群の目標達成への寄与 ・大学での講演や県内外のイベントへの参加・協力、ウェブサイトの改修などを行うことで、中国との交流の歴史や日本遺産をはじめとする長崎の文化資源について広く情報発信ができ、これらを担う人材の育成や、地域活性化へとつながる基盤づくりに寄与した。
								長崎と中国との交流の歴史に関する情報発信数(回)	4	6	150%	
								【活動指標】				
								日本遺産のPR活動件数(件)	30	31	103%	
								【成果指標】				
								長崎と中国の繋がり理解が深まった割合(%)	72	100	138%	
				【成果指標】								
				R3-4	—			日本遺産の認知度(%)	40	40	100%	
			文化振興・世界遺産課	—	—	—	市町、国内、中国自治体および中国国民		40			

取組項目iv	○	6	長崎県文化観光推進事業費	36,715	8,961	19,475	文化観光推進法に基づく国の補助金等を活用することにより、博物館などの文化観光拠点施設の機能強化や観光施設等との連携による周遊を促進する。	【活動指標】				<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・R3年度は長崎歴史文化博物館においてはWi-Fi整備やお白洲寸劇の映像化・多言語化、県美においてもWi-Fi整備や展示解説の多言語化を実施し、館の機能強化を図った。また、長崎歴史文化博物館・長崎県美術館・出島の3館が協働で講演会も開催し、施設間の連携を図った。R2年度程ではなかったが、引き続き新型コロナウイルスの影響を受けた中で満足度の目標を達成しており、本事業も目標達成の一翼を担ったと考える。 ●事業群の目標達成への寄与 ・長崎歴史文化博物館・長崎県美術館・出島の3館連携講演会は新型コロナウイルスの影響で無観客でオンライン配信のみの開催となった。事業群の目標達成に直接的に貢献はしていないがYouTube動画配信閲覧数は約1,000回となっており、R4年度は実開催を予定していることから、更なる施設間の連携と地域間周遊を促進していきたい。
				28,359	8,319	19,203		【成果指標】				
			R3-7									
			文化振興・世界遺産課	—	—	—		長崎県文化観光推進協議会	文化観光拠点施設の中核館である歴史文化博物館と県美術館の満足度アンケート(5段階)	4.0	4.1	

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	県内のどこにいても音楽や美術などの良質な芸術に触れられる機会の提供	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>優れた芸術鑑賞の機会が少ない地域においては、県展入賞作品と地元作家の入選作品を展示する県展移動展や長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において実施する移動展や遠隔授業等により、県内各地において地域住民に優れた芸術文化鑑賞の機会を確保した。県展については、令和3年度は、県展への親近感を醸成する「オークション事業」や、協賛企業を増やすため、会場内に協賛会員等PRコーナーを設置する「協賛会員PR事業」、協賛企業の増加や県展への親近感を醸成するための「入賞・入選作品貸出事業」に取り組んだが、コロナ禍の影響は避けられず、前回(令和元年度)と比べて、全体の出品点数は7%減、観覧者数は16%減、協賛企業数は32%減となった。</p> <p>文化団体助成費では、自主事業である新人演奏会出演者による出張公演開催など、県内どこにいても良質な芸術に触れられる機会の確保に努めたが、人口減少に伴う地域文化活動の縮小等により、参加者数が減少傾向にある。</p> <p>地域住民に事業に参画していただく「長崎しまの芸術祭」を実施することにより良質な芸術に触れられる機会の提供が図られた。新型コロナウイルス感染症拡大により、引き続きコロナ禍におけるガイドライン等に沿った文化芸術活動の実施が求められる。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>県展、県選抜作家展の同時開催など、県展の段階的な再編を検討し、出展数、観覧者数の増加につながるような「総合美術展」としてステップアップしていく。今後も新型コロナウイルス感染症拡大により、イベント等の集客や実施方法に大きな影響が出るのが想定されるため、オンラインなどを活用した新たな手法を取り入れていくことを引き続き検討していく。また、出品数や観覧者数、協賛企業数の増加につながる運営方法の改善について、県展実行委員会と協議を進める。</p> <p>地域文化活動の活性化を図るため、新しい分野の団体の掘り起こしや、文化団体の体制強化を図ることが必要である。</p> <p>イベント等の開催において、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、集客や実施内容に大きな影響が出るのが想定されるため、オンラインの活用など新たな手法の構築を検討していく。</p>
ii	本県を舞台とした作品の創作支援、出版社等との幅広い人的ネットワークの構築	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>人口減少などにより地域の活力が低下するなか、地域の活力を再生するには、他県にはない個性的な取組や、交流人口等拡大のための各種施策、人的ネットワークの構築が重要である。新型コロナウイルス感染症拡大により、作家等の本県への招聘は限定的であったが、本県をテーマとしたマンガや小説等の作品化を推進することにより、本県の魅力発信に努めるとともに、出版社等との幅広い人的ネットワークの構築を推進した。今後は、更なるネットワーク強化を図る。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>首都圏の出版社等を訪問し、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源のさらなる売り込みを行い、マンガ、小説、紀行などの分野で作品化を図る手法の確立を目指すとともに、引き続き、より幅広い人的ネットワークの構築を図る。また、出版社等との関係強化のため、創作支援に留まらない手法を構築していく必要があるため、タイアップや、県媒体を活用した作品の広報PR等を実施する。</p>
iii	継続的な若手芸術家の支援及び若者の企画立案能力向上を図るための人材育成、離島地域を含む本県の多様な文化芸術を総合芸術祭として一体的に実施	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、事業の延期や中止、オンラインを活用した内容等への変更を余儀なくされたが、今後も引き続きコロナ禍におけるガイドライン等に沿った文化芸術活動の実施が求められている。</p> <p>県が地域をけん引する形で事業を進めてきたが、文化芸術による地域づくりを推進するため、地域主体型への事業へと転換を図っていく。各地域で持続可能な取組が継続されていく体制を構築することや本事業を総合芸術祭として一体的に打ち出し、広く情報発信に努める。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>イベント等の開催において、新型コロナウイルス感染症の影響により、集客や実施内容に大きな影響が出るのが想定されるため、オンラインの活用など新たな手法の構築を検討していく。</p> <p>文化芸術活動を通じた地域づくりの振興は、地域の人々のふるさとへのアイデンティティ再認識に寄与するとともに、郷土愛を高め、若者の人口定着を図る手法として効果的であることから、地域実行体制の強化・人材育成を図っていく。また、地域の自立を促すため、入場料収入や協賛金等の確保を事業実施の要件としていく。</p>

iv 長崎ゆかりの偉人のさらなる顕彰や本県と中国との交流の歴史などの情報発信による認知度向上と海外との交流拡大、県内の日本遺産等を通じた長崎固有の歴史・文化の県内外への発信

●実績の検証及び解決すべき課題

隠元禅師の顕彰については、大学等での講演や中国武漢・寧波でのフェアによる情報発信、「旅する長崎学」HPでの「隠元禅師と黄檗文化」ページの内容充実に取り組んだ。ただし、長崎ゆかりの偉人に対する認知度はまだ十分ではなく、行政主導による取組の側面が強い。

日本遺産「国境の島」の取組については、これまでの各種情報発信などの取組等が国から評価され、認定継続及び重点支援地域に選定された。しかしながら、日本遺産そのものの知名度が低いことや、彦岐・対馬・五島の各地域が連携した取組が十分に行っていないことが課題である。

●課題解決に向けた方向性

長崎ゆかりの偉人の顕彰については、民間の動きを活発にするとともに、国内外に広く分かりやすく情報発信するなどの取組を継続して行うことにより、孫文と梅屋庄吉の友情の物語や、隠元が日本文化に与えた影響に対する認知度・理解度を高め、交流の拡大・多様化につなげていく。

日本遺産については、各地域の構成資産や歴史ストーリーが持つ魅力の磨き上げを図ることや、連携した誘客対策等により、ふるさと教育や観光誘客の促進に取り組むとともに、日本遺産の全国イベントをはじめ、様々なイベントや各種媒体で魅力を発信して知名度向上を図っていく。

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事業事業名	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しがない場合は「―」と記載	事業構築の視点	令和5年度事業の実施に向けた方向性	
			事業期間			見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	文化芸術ながさきステップアップ事業費	出品数や観覧者数の増加につながるよう、「県内最大の総合美術展」としての長崎県美術展覧会(県展)の段階的な再編を検討していく。 また、出品料や賞金の金額の見直しを行い、企画・運営体制の強化と収支改善を図る。	②③⑥	長崎県美術展覧会(県展)と長崎県選抜作家美術展の同時開催など、観覧者にとって魅力ある「県内最大の総合美術展」へ再編することなどを引き続き検討する。 また、県内の文化芸術団体に活躍の機会を提供することにより、地域コミュニティの活性化、若者人材の掘り起こし、ふるさと教育につなげ、地方創生に資するとともに、地域文化を磨き上げることにより、文化芸術立県としてのレガシーを残す。	改善
			R2-				
			文化振興・世界遺産課				
取組項目 ii	○	2	「描いてみんなね！長崎」事業費	取材時には学芸員や地域ガイドによる充実した視察対応を行い、取材後は継続した情報提供により関係性を構築し、県広報媒体を活用したPR支援など作品化を図る手法の確立を目指すとともに、マンガに限らず、小説や紀行など他分野で幅広い人的ネットワークの構築に努める。	②⑥	出版社や書店等とのタイアップ等による事業及び作品の広報力強化等について検討する。 事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い令和2～3年度に招聘予定の作家の来県が延期となったこと、また、出版社と良好な関係性が構築されており招聘から作品化まで順調に事業実施が行われていることから、令和5年度以降も事業を継続する。	改善
			R元-4				
			文化振興・世界遺産課				
取組項目 iii	○	4	みんなで創る！ながさき国際文化芸術プロジェクト	R4新規	②③⑤⑥	文化芸術活動の振興は、地域の人々のふるさとへのアイデンティティ再認識に寄与するとともに、郷土愛を高め、若者の人口定着を図る手法として効果的であることから、東京藝術大学との連携を強化し、地域実行体制の強化・人材育成を図る。また、インバウンドを含む交流人口の拡大や関係人口の創出を図るため、海外からアーティストを招き、地元の資源を活用した文化芸術活動を実施する。また、若者の参画を拡大する仕組みを構築するとともに、訴求力のあるクリエイター等を招聘し、参加者と地域の交流が継続する活動を展開する。	改善
			(R4新規)R4-7				
			文化振興・世界遺産課				
取組項目 iv	○	5	「長崎の歴史」魅力再発見・発信事業費	令和4年は、隠元禅師大遠諱350年、日中国交正常化50周年、長崎県と福建省との友好県省締結40周年でもあり、顕彰の機運が高まっていることから、それに合わせて長崎歴史文化博物館において「隠元禅師と黄檗文化」をテーマとした企画展を開催する。また、隠元ゆかりの地域(京都府、宇治市、福建省等)と連携したイベントへの参加についても積極的に行う。 日本遺産「国境の島」の取組については、これまでの各種情報発信などの取組等が国から評価され、認定継続及び重点支援地域に選定されたことを契機と捉え、様々な機会を捉えて情報発信等を行い、知名度向上につなげていく。	②⑥	今後、ワクチン接種の進展等により人の往來の回復も期待されることから、県内の2つの世界遺産をはじめ、日本遺産、長崎ゆかりの偉人、食文化や長崎学など長崎特有の歴史・文化と観光を融合させ、本県への誘客までを見据えた情報発信や誘客促進等の取組を、関係地域とも連携を深めながら積極的に進めていく。 また、文化観光ウェブサイトの整備や多言語化を図ることにより、インバウンド誘致を見据えた海外向けの情報発信についても強化していく。	終了
			R3-4				
			文化振興・世界遺産課				

取組 項目 iv	○	6	長崎県文化観光推進事業費	博物館等の展示内容の充実や機能強化を図るとともに、新たに文化観光ガイド育成や施設間連携に市町と協力及び役割分担を行いながら取り組むことにより、地域の文化資源の魅力増進や施設間の連携及び周遊促進を図る。	⑤⑥⑧	引き続き博物館等の展示内容の充実や機能強化を図るとともに、地域間の周遊促進に市町や観光事業者等と協力及び役割分担を行いながら取り組むことにより地域のさまざまな文化資源のさらなる魅力増進や、周遊促進を図っていく必要がある。	改善
			R3-7				
			文化振興・世界遺産課				

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改革要望)する必要があるか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点